

生きる仲間

発行日 平成3年11月30日
発行 札幌腎臓病患者友の会
責任者 鈴木 啓三
住所 札幌市東区北18東1
喫茶クインテス内
電話 741-4578

第11回腎臓提供登録キャンペーン モーラップで炊事遠足



笑顔で登録を訴える園田さん

科腎臓病相談
市立札幌病院 平野啓三 先生



第11回 腎臓提供 登録キャンペーン

秋の大 通公園 明るく訴え

10月6日

去る十月六日、午後一時より大通り西三丁目〜四丁目、全国一

斉腎臓提供登録者拡大キャンペーンが行われました。当日は天候も良く、札幌では、市内で札幌マラソンも行なわれていて、人出もいつもより多く大通り公園も秋の一日を楽しむ人でにぎわっていました。

そんな中で、腎臓登録キャンペーンが行なわれ北海道腎臓病患者連絡協議会会長の岩崎さんのあいさつで始まり、集まった患者五十名札幌市市立病院の平野先生、金川先生、看護婦さん三名、スノーライオンズクラブのかた十一名、北海道難病連の方々、北海道と札幌市の保険予防課の職員など総数七十名以上の方が街頭で、「腎臓登録に御協力を」とうたったえました。用意した、チラシ三、〇〇〇枚、インシュペーパー三、〇〇〇個、風船三〇〇個が約四〇分で、配られ、街行く市民に腎臓登録を、アピ

ルでき本当に良かったと思います。

最後に全員集まっていたいただき札幌腎臓病患者友の会の鈴木会長に閉会のあいさつをいただき、ささやかですが、参加者全員にテレホンカードが配られ解散となりました。尚当日の登録者は、五名でした。又当日の夕方と翌日にはテレビや新聞でもくわしく報道され、多くの市民に周知していただきました。当日参加いただきました皆さんに心より御礼申し上げます。又来年もよろしくお願い致します。

(報告 棧 勇)



よろしく願いしまーす

平成3年12月10日

(頁才)
北海道難病連 殿

12.11

札幌腎臓病患者友の会
会長 鈴木 啓三

“生きる仲間”の発送について

拝 啓

寒さもひとしお身にしみるところとなりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

日頃より札幌腎友会の活動にご協力を戴きありがとうございます。

また、先日は腎臓バンク登録者拡大キャンペーンに参加して戴き、本当にありがとうございました。

おかげ様で今年のキャンペーンも無事終了いたしました。

この度、機関紙“生きる仲間”が出来上がりましたので、同封させていただきます。

お読み戴ければ幸いに思います。また今後とも、ご指導・ご協力をお願い申し上げます。

敬 具



やっと配り終わりましたね



本日はどうも御苦労様でした



みなさんこのゼッケンを付けて下さい





さあ頑張りますよう



ご苦勞様でした
(キャンペーン参加者)

- 札幌東クリニク 佐々木美智子
札幌北クリニク 鈴木啓三 村
本徳雄 久原幸江 加藤惺子
山岡裕子 堂田三枝子 若松千
鶴子 嶋良子 金丸洋子
石川医院 遠藤兼市 浦嶋一志
千葉三枝子 正者美恵子 田畑
サツ子
清田泌尿器科 棧勇
光星泌尿器科 堀井和彦
北三条内科 宮本好和
佐藤医院 永田和之
田島クリニク 棚田まゆみ
手稲溪仁会病院 金山義一
勤医協丘珠病院 赤川良介 木谷
憲男
いのけ医院 佐藤朱美
河口内科 高道章 高道彩織 高
道香織
宮の森記念病院 川村隆志
渡井医院 岩崎薫 岩崎紀威 (家
族)
N T T 札幌病院 片岡正雄

うえと医院 柳沼正一

- 中野医院 福原真理子 新山正紘
腎移植者の会 松浦信博 大西政
弘 佐藤繁 佐藤公則 園田美
恵子 藤井義人 藤井宮子 (家
族) 藤井敬次郎 (家族)
北海道難病連 佐々木秀利 村山
文彦
側わん症の会 瀬野洋子 小川由
喜子
北海道腎臓バンク 横山寿美子
市立札幌病院 平野哲夫 (医師)
平野憲子 (家族) 金川匡一 (医
師) 山根知鶴子 (看護婦)
渡井医院 渡辺弘子 (看護婦)
石川医院 丸山奈巳 (看護婦)
道保健予防課 脇田勲 板垣政一
木下忠義
市保健予防課 辻和郎 (他一名)
札幌スノーライオンズクラブ
(十一名参加)
(敬称は略させていただきます)



投稿

生きる仲間

札幌北極病院 菅原みさ子



私が具合悪くなり腎不全と言われその後先生から「透析をしなれば長く生きられませんか」と言われ仕方なく透析をする様になって、まだ一年未滿で御座居ます。週二回ですが毎回通って思う事ですが、今だに患者さんの顔と名前が一致しません。でも名前は解らなくても、色々日常の事など皆さんと話し合いの中で少しづつ教えられるそんな気が致しております。同じ病気の人達の中で透析の始まる前の少しの時間色々教えられたりで、私には本当にうれし

ことです。今迄病気の事で頭がいばいでした。でも最近は少しでも良くなりたい又楽になりたいと思ふ様になりました。色々な方とお話出来る様にとめております。

皆さんも病気に負けそうになっても生きたいと願っている患者さんが私達の廻りに沢山おられますので頑張って仲間と共に楽しく生る事を考えませう。私はまだまだ解らない事ばかりです。どうか何時迄も皆さんの指導のもとに良きアドバイスをお願い致します。そして皆様一日も長く生きられる様張りませう。



移植について

中野医院 金田 和代



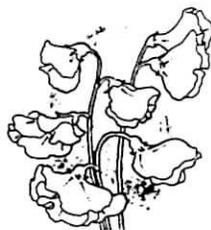
今年の十二月で透析歴二年になります。

以前から、幼い子供達の為に、移植をしたいと願っております。

実家の母は六十五才、検査の為に静岡県から出てきてくれました。「私の腎臓が合えばいいね。」と、遠くから、ひざが弱いのをがんばって来てくれました。結果は適合検査はOK、しかし、母の心臓がだいぶ弱っているとの事で、あきらめざるを得ませんでした。母は、「あんたに、元気になって

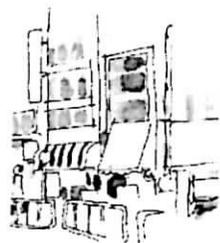
もらいたかったのにごめんよ」と言って、静岡に帰って、行きました。内科の検査などをして、三回も札幌に足を運んでもらったのに、残念でなりません。移植を待ち望んでいる人達がたくさん居る中で、私は、とても幸せだと思います。今度は、二つ上の兄が「今度は、オレが検査してみる」と言ってくれているのです。

親、兄弟って、ほんとうにありがたいものです。遠く離れていても、いつも忘れずに私の事を案じてくれているのですね。



新しい楽しみを発見

南一条病院 高田 裕子



私が慢性腎炎と言われたのは昭和四十六年、その頃は自覚症状はほとんどなく時々発作的に血圧が

上がり、その時は頭痛と嘔吐で苦しい思いはしますが（それも半日ほど）普段は健康（？）そのもの。

仕事も順調で残業等も平気でこなしていたものです。発病後十四、五年は高血圧専門外科で診てもらいその後腎臓外科になりました。

その当時読んだ本に腎臓病は「医者は青くなり患者は平気」と書かれて有りましたが治療法や自覚症状のない病気と言うことなのでしょう。

私の場合、比較的腎不全までゆっくり進行してくれたおかげで機械や薬等、相当良くなってから透析に入ったのでとても薬に導入が出来たことは、私が慢性腎炎と言われた当時に、透析を受けなければならなかった先輩皆様の苦勞話

を聞くたびに、不幸中の幸いと思えます。

私には今まで趣味（全部遊び）として楽しんだ物が結構有りました。編物、洋裁、お花、お茶、刺繍、人形造り、日本画、詩吟等々：一年々十年ほど続けたもの、どれも楽しいものばかり、その中でも日本画、詩吟はのんびり遊びながら一生楽しめる趣味として気楽に続けていました。

ところが腎臓が悪くなってからは、手の震えが始まり、薬の副作用で声が出なくなり、いつまでも長く楽しめると思っていたこの二つの趣味が一番先に出来なくなると思ってもいませんでした。

本当に先の事はわからないもの、特に詩吟が出来なくなった時はとても淋しい思いをしました。

元気に働いていた頃が懐かしく、楽しんでいたお稽古事まで、

あつと言う間に失ってしまい、風が吹けば：なんとやらで透析がこんな形で生活を狭くするとは思いませんでした。

私の場合、最初からとても楽に透析に入る事が出来、先輩からも驚かれるほどでしたから、自分の生活がこのように変るとは思いませんでした。

ところが、この頃新しい楽しみ（？）をみつけました。透析の帰り、運動を兼ねデパートめぐりをするのです。いつでも見ているパーゲンセールでは、季節変りの飾り付け、展覧会、催し物と色々見る事が出来ます。そして時々超目玉商品をみつけ買って来ては透析仲間披露し、自慢します。そんな事でこの頃はあたりまえの値段で買物をするのが少なくなりました。

運動、ショッピングと一石二鳥

の最近みつけた私の遊びです。
一生続けなければならぬ透析ですが、ちょっとあたりを見廻すと結構楽しめる物があり一日おきの通院にウンザリすることもありませんが、今日も透析を終えて小さな秋の中に小さな楽しみを期待しつつ家路につきますか。



作品の日本画の前で

私の職場

佐藤医院

三沢 祥子



私の職場は、喫茶店です。十二坪ほどの南西の角地、明るい店です。太陽がサンサンと、ふり注ぎよくお客様がうたたねをしています。店の名前は、「アラン」です。あのアラン・ドロン、アランからつけました。店内奥中央の壁には、アラン・ドロンの大きなパネルが飾ってあります。オープンして今年で十四年目に入りました。

かよちゃん、はつえさんと二人の女性が働いています。かよちゃん十九才のピチピチギャル、でもしっとりといいな女のムードたっぷりの子です。今時の若い女の子にしては、言葉もきれいな話し方をします。そして良く働いてくれます。はつえさんは年は私よりずっと若いけれど透析では私より先輩です。同じ透析患者なので、家なこと、病気のこと仕事のことなどでも相談できて私のよき理解者してくれる身内みたいな感じだと思います。二人の良い友にめぐまれ仕事ができる事に日々感謝しています。

私には子供がおりません。ですから店が子供みたいなものでとても大切に考えています。結婚してすぐ常位胎盤早期剝離で子供は死産私は出血多量で透析をするようになりました。開店して二年目のとき、昭和五十七年八月六日のことです。その日からは入退院のくりかえしの日々、何度もやめようと思いましたが。ヘマトも、十三、十四ぐらいでいつもたちくらみでひっくりかえってしまいました。仕事にでもこわくて、つらくて、でもがんばってききました。この三年ほど、みちがえるように元気になる、毎日が楽しく生きていく実感をもつこの身体で心で感じていきます。良き夫、良き女の子達、良きお客様にはげまされて、がんばってこれました。私が今僻せと思えるのも仕事があるから、自分の場所があるからだと思います。そんな気持ちで店に出ています。社会からお世話になって生きていく私ですが、少しでもお

えししたい、そんな気持ちで店をしています。一日の内「アラン」へ来てほっとする少しの時間、やすらぎになってくれたらいいなあと思っています。売上はすべて店に還元し安く、おいしく、いごちよく、そんなことに気をつけています。仕事は水ものですから良い時もあれば、悪い時もあります。毎日楽しく笑顔で働きたいと思っています。紀子様スマイルでハッスル、ハッスルです。午前中はトースト・セット昼はランチタイム、コーヒー付で六百円です。大変評判がいいのです。ごはんもおかわり自由です。一度食べに来ませんか。

漢字クイズ

(いくつ読めるかな?)

- | | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|------|--------|
| 13・頻りに | 14・却って | 15・有様 | 16・皆目 | 17・ | |
| 1・扱 | 2・生憎 | 3・偶々 | 4・剩え | 5・逼迫 | 6・ |
| 7・拊底 | 8・併し | 9・御社 | 10・漸く | 11・ | 12・兎に角 |
| 13・頻りに | 14・却って | 15・有様 | 16・皆目 | 17・ | 18・就いて |
| 19・所 | 20・斟酌 | 21・暫く | 22・宜しく | 23・尚 | 24・ |
| 25・頓首 | | | | | |

(解答は16ページにあります)

モーラップで交流

炊事遠足に16病院108名

9月1日



ビンゴゲームを始めます



恒例の炊事遠足が九月一日、日曜日に行なわれました。このところの天候異変のお陰？で日曜日は良いお天気の日が多く、当日も昨年と、同じくらしいの暑い一日でした。

今年も、支笏湖モーラップキャンプ場にて、開催されました。この日を迎える迄の準備毎年の事ながら大変なことであります。申し込み人数が把握出来るのは、一週間前ですから、それから参加人数に合う、肉、野菜、飲み物、おわん、等の買い出しが始まる。

もし雨天で中止になった時に、

無駄にならないように肉、食物は、当日早朝に入手する。野菜は前日に買い入れ、事務局である喫茶クインテスで毎回の如く、女性の炊事遠足実行委員の各メンバーが包丁持参で、ジャガイモ、人参等の皮剥きする。切り刻んだ材料、大鍋、木炭、金網など数台のマイカーに積み込み当日、現地まで運んでもらう。一日、九時三十分、地下鉄真駒内駅に、集合して、二十九人乗りレンタルバス二台、マイカー数台に、分乗して現地へ向う。毎回、マイカーにお世話になっており、また、今年も堀井さん、辻

さんにマイクロバスの運転をしていただきました。有難度う御座いました。

天気も良し、車は軽快に、支笏湖へ向って走る。都心から一時間、緑に囲まれた湖畔は、いつ来ても心がなごむ。普段、遠くに掛ける事の少ない方は、年三回開催される行事に参加され、会員同士語り合い、情報交換の場としてはいいです。今まで、もなみ公園、十五島公園、滝野自然公園、ホロピナイキャンプ場などで開催されました。

今回の参加人数、十六病院、大人一〇〇名、子供八名でした。今時一〇〇名こす団体は、我々らしいのです。広場は、貸切りといたところでした。さっそく、六班に分かれ作業開始。このキャンプ場は、先に使用されたプロックが山ほどあり、かまど造りは、楽々完成。豚汁の、中身は豚肉のほかに、ジャガイモ、人参、玉葱、ごぼう、大根、コンニャク、そしてトーフと、栄養満点。この他に、ジンギスカン、持参のおにぎり、ほとんど食べにここまで来た様なものでした。暑いなか、湖畔の傍



熱心に火をおこす人。できあがりを楽しみに待つ人。



食へることに専念する人。さて、あなたはどれかな？



皆の力で
全腎協北海道總會
を成功させよう!!

(平成四年五月二十四日)

で食べる豚汁は、なんと美味しいことか。毎年管理人さんにも、差し上げ食べていただいております。イカなどの生魚を持参して、焼いている班もありました。食後のゲームは、まずジャンケンゲーム、そしてビンゴゲーム。

参加者は、景品獲得のため賑やかな一刻を過しました。今年、都合で参加されなかった皆さん、来年も、多彩なレクリエーション、勉強会が開催されます。是非、参加され元気な仲間と共に一緒に、頑張ってくださいませ。

(報告 宮本)

花火販売結果報告

平成3年度

施設名	販売売上額	還元金
田島クリニック	120,510	28,640
宮の森記念病院	78,074	18,330
札幌セントラルクリニック	31,930	7,470
渡井医院	13,699	3,200
光星泌尿器科医院	26,883	6,200
佐藤医院	9,270	2,140
うえと医院	12,669	2,970
石川医院	10,712	2,450
仁楡会病院	14,626	3,370
札幌北クリニック	29,870	7,000
中野医院	16,171	3,790
広田医院	8,549	1,950
清田泌尿器科	10,300	2,360
三樹会病院	22,351	5,110
札幌北楡病院	16,274	3,690
合計	421,888	98,670

夏に向けて難病連の協力事業として行っていただきました花火とビアガーデン

ーデン利用券の販売結果が次の表の通りとなっております。

難病連協力事業結果報告

雲仙普賢岳被災カンパ集計結果報告

9月19日現在

施設名	金額
いのけ医院	9,400
北三条内科クリニック	2,000
田島クリニック	8,771
宮の森記念病院	13,000
渡井医院	12,172
光星泌尿器科医院	3,300
佐藤医院	4,700
勤医協丘珠病院	13,481
うえと医院	1,500
札幌北クリニック	30,118
中野医院	20,626
幌南病院	4,500
清田泌尿器科	20,727
広田医院	3,000
三樹会病院	9,250
札幌北楡病院	8,500
N T T 札幌病院	1,000
合計	166,045

ビアガーデン利用券販売結果報告

平成3年度

施設名	販売売上額	還元額
北三条内科クリニック	3,000	300
仁愛会外科クリニック	148,500	14,850
渡井医院	10,000	1,000
光星泌尿器科医院	10,000	1,000
勤医協丘珠病院	10,000	1,000
仁楡会病院	5,000	500
札幌北クリニック	43,000	4,300
中野医院	3,000	300
清田泌尿器科	25,000	2,500
三樹会病院	41,000	4,100
合計	298,500	29,850

長崎県島原市の雲仙普賢岳被災カンパにご協力ありがとうございました。

全腎協を通して皆様の善意が最終的には全国で二千万円を越えそうです。

○モータールの炊事遠足で男物のつば付帽子（カーキ色）を無くして困っている方がいます、心あたりの方は事務局へご連絡下さい。

新聞報道から

私たちが全国一斉の腎キャンペーンを始めてから、今年で十一回目を数えます。この間、多くの仲間達が移植を夢みながら亡くなられていきました。マスコミへの働きかけや、キャンペーンを通して地道な国民への呼びかけを十一年間も行って来ても、脳死の問題がネックとなり、ご存知の通りの現状です。しかし私達は決して諦めません。一步一步でも前進している限り、私達はいつかその夢を叶える事が出来ると信じているからです。



「腎臓バンクに登録を」と呼びかけた街頭キャンペーン。血圧測定無料サービスも行われた

腎臓バンクに登録して

札幌など 推進月間の啓発活動

十月の「腎(じん)移植推進月間」に合わせて六日、第十一回腎臓バンク登録者拡大・全国一斉街頭キャンペーンが全国各地で行われ、道内でも札幌、函館、旭川など十八カ所、腎臓病患者らが腎臓提供者登録への協力を呼びかけた。

道腎臓病患者連絡協議会「これに対し、北海道腎臓によると、人工透析を受けバンクに登録し、死後に腎臓提供を申し出ている患者は道内で約二千七百人。現在、約一万二千六百人にこのうち五百四十二人が既に登録している。過去に死体組織適応検査を受け、移植例はあるものの、同バンク登録者からの移植例を希望している。

はまたなく「慢性的な提供(含)」という。札幌市中央区の繁華街で「同協議」は、患者やその家族、病院

関係者ら約百人が街頭啓発に参加。横断幕のぼりを掲げながら、パンフレットや登録カードなどを通行人に手渡し「登録に協力を」と訴えた。また市立札幌病院腎移植センター腎移植科の平野哲夫主任医長が腎臓病の無料相談コーナーも開設、患者の悩みに応じていた。

日本の死体腎移植 やっと2000例超す 提供者不足相変わらず

【医学】日本でもこれまで実施された死体腎(じん)移植が、昨年未だでやっと二千例を超えたことが、日本移植学会の調査で分かった。米国では年間で約七千八百例が実施されている。死体腎移植は、一九六七年にスタートした。しかし、提供者が増えず、年間で百例を超えたのは八〇年になってから。一昨年初めて年間で二百例を超えたが、昨年は逆に四十四例減るなど、相変わらず提供者不足の状態が続いている。同学会理事で調査をまとめた團田孝夫大阪府立病院長は「やっとここまで来た」という感じだ。二千例と言っても米国のわずか一年分の四分の一にすぎず、どうすれば今後提供者が増えるか、考える必要がある」と話している。

学会の調査で分かった。米国では年間で約七千八百例が実施されている。死体腎移植は、一九六七年にスタートした。しかし、提供者が増えず、年間で百例を超えたのは八〇年になってから。一昨年初めて年間で二百例を超えたが、昨年は逆に四十四例減るなど、相変わらず提供者不足の状態が続いている。同学会理事で調査をまとめた團田孝夫大阪府立病院長は「やっとここまで来た」という感じだ。二千例と言っても米国のわずか一年分の四分の一にすぎず、どうすれば今後提供者が増えるか、考える必要がある」と話している。

〈事務局活動経過報告〉

- 7月18日 “全腎協”(121号) 発送
- 7月21日 第1回幹事会(北区民センター25名参加)
- 7月30日 幹事会報告発送
- 8月1日 “生きる仲間”(20号)、“透析ライフ”(No.40) 発送
- 8月3日 第1回炊事遠足実行委員会
～クインテス14名参加
- 8月6日 炊事遠足案内発送
- 9月1日 炊事遠足(モーラップ108名参加)
- 9月21日 “生きる仲間”(21号) 編集委員会
～村本、鈴木、棧、川村、片桐、三沢、永田
- 9月24日 “全腎協”(122号)、“どうじん”(36号) 発送
- 9月24日・25日 腎キャンペーン広報関係あいさつまわり～鈴木、岩崎
- 9月27日 “生きる仲間”(21号) 原稿依頼発送
- 9月29日 第2回幹事会(北区民センター20名参加)
- 10月6日 第11回全国一斉腎登録街頭キャンペーン(大通西3・4丁目)～約70名参加
- 10月8日 腎キャンペーンお礼まわり、道庁他～鈴木、岩崎
- 10月12日 全腎協患者実態調査アンケート用紙発送
- 10月19日 国会請願用紙(全腎協、JPC、有料道路)、全腎協総会北海道大会参加希望アンケート用紙の発送
- 10月25日 “透析ライフ”(No.41) 発送

事務局だより

○お正月飾りの販売について

難病連協力事業として恒例となっておりますお正月飾りの販売あっせんを十一月から十二月末にかけて実施しております。

時期的に遅くなりますと注文が殺到しますので幹事を通してお早目にご注文願います。

○今年も残すところあとわずかと成りましたが、会員の皆様にとって、この一年はどんな年でしたか。体調も仕事もすべて順調だった人、また、残念ながら体調をくずされて早く今年を終えたいと思っている人(私もそのひとりです)様々だと思います。

○来たる平成四年度は全腎協創立以来初の北海道総会がこの札幌で開催されます。

編集後記

会員の皆様の積極的な参加と協力で全国に恥じない大会にしよう、と、スタッフ一同頑張っています。

おくやみ



NTT札幌病院の幹事として活躍されておりました片岡正雄氏が十一月六日にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

皆様もどうか全国大会の雰囲気を感じて下さい。皆様次回の“生きる仲間”をお楽しみに。

漢字クイズ解答

- 1 さて
- 2 あいにく
- 3 たまたま
- 4 あまつさえ
- 5 ひっぱく
- 6 まさに
- 7 ふっついで
- 8 しかし
- 9 おんしゃ
- 10 ようやく
- 11 とりあえず
- 12 とにかく
- 13 しきりに
- 14 かつて
- 15 ありさま
- 16 かいもく
- 17 めど
- 18 ついて
- 19 しょぞん
- 20 しんしやく
- 21 しばらく
- 22 よろしく
- 23 なお
- 24 およそ
- 25 とんしゅ